



令和4年度 重点目標									
学校で目指す重点目標			三者協働で目指す重点目標						
<p>重点目標 1</p> <p>【心】 相手の気持ちを考えて接する力</p>	<p>重点目標 2</p> <p>【体】 メディアコントロールを実践する力</p>	<p>重点目標 3</p> <p>【考】 自分の考えを表現できる力</p>	<p>重点目標 4 (協働型学校評価到達目標)</p> <p>人と関わり合う力の育成 「相手と目を合わせて進んで挨拶プラス一言」ができる児童の育成</p>						
<p>○泉松陵小いじめ防止基本方針に基づく命と心を育む教育 ・道徳教育を核とした取組 ・たくましく生きるプログラムや自分作り教育の実践 ・いじめ防止絆キャンペーン標語と行動目標の策定と実践</p> <p>○ルール(規律)とリレーション(親和的な関わり)に基づく学級づくり ・学校生活アンケートやQ-Uの実施 ・ふれあい面談の実施 ・「ふわふわことば」「ちくちくことば」の実践 ・ソーシャルスキルトレーニング</p> <p>○異学年交流の充実 ・なかよし活動(たてわり)の充実 ・ふたばまつり ・幼保小交流や小中連携</p>	<p>○情報モラル教育の推進 ・学活や道徳を中心とした取組 ・外部講師による出前講座</p> <p>○小中連携事業の実践 ・家庭と連携したスクリーンタイムの実践</p> <p>○情報活用能力の育成 ・GIGAスクール構想を生かした情報教育の推進</p> <p>○生活習慣の振り返り ・すくすくシートによる振り返りと望ましい生活習慣の振り返り</p>	<p>○想像力を広げ語彙力を増やすための読書活動やNIE教育の推進 ・読み聞かせの実施 ・読書タイムの充実 ・図書時間の確保 ・本に親しむ環境整備 ・新聞の活用の実践</p> <p>○基礎基本の確実な習得と言語能力を高める授業の充実 ・各教科における「書く」「話す」場の設定 ・見方や考え方を広げ次の学びに向かう問いの充実 ・ICTを活用した各自の考えの可視化</p> <p>○泉松陵小スタンダードによる学習習慣の確立と家庭学習の習慣化 ・家庭学習の内容の吟味</p>	<p>協働型学校評価における今年度の重点目標</p> <p>「相手と目を合わせて進んで挨拶プラス一言」ができる児童の割合を80%にする</p> <p>三者による改善活動</p> <table border="1"> <tr> <td>学校</td> <td>・挨拶や他者とのコミュニケーションの心地良さを実感させる ・小中や地域が連携する機会をとりえ挨拶できる関係や環境づくりを推進する</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>・子供の話を最後まで丁寧に聞くことを意識して会話するよう心掛ける</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>・登下校や行事などで積極的に挨拶できる関係や環境づくりを推進する ・小中学生が楽しく誰もが参加できる地域行事を提供する</td> </tr> </table>	学校	・挨拶や他者とのコミュニケーションの心地良さを実感させる ・小中や地域が連携する機会をとりえ挨拶できる関係や環境づくりを推進する	家庭	・子供の話を最後まで丁寧に聞くことを意識して会話するよう心掛ける	地域	・登下校や行事などで積極的に挨拶できる関係や環境づくりを推進する ・小中学生が楽しく誰もが参加できる地域行事を提供する
学校	・挨拶や他者とのコミュニケーションの心地良さを実感させる ・小中や地域が連携する機会をとりえ挨拶できる関係や環境づくりを推進する								
家庭	・子供の話を最後まで丁寧に聞くことを意識して会話するよう心掛ける								
地域	・登下校や行事などで積極的に挨拶できる関係や環境づくりを推進する ・小中学生が楽しく誰もが参加できる地域行事を提供する								